

平成21年度革新的な森林整備の取組支援事業 試行的課題選定一覧

| 番号 | 申請者 | 試行的課題 | 実施内容 |
|----|-------------------|------------------------------------|--|
| 1 | 宮城県農林種苗 農業協同組合 | 新たな形態の苗木植栽による 低コスト造林への取組 | 2年生大苗とマルチキャビティコンテナ苗を用いて植栽本数を減らし、苗木の形態・規格別の低コスト造林の実証を行う。 |
| 2 | 森杜産業株式会社 | 作業路開設事業 | 変化に富んでいる土質・地形に、幅員2.5～3.0mの四万十式作業路を開設し、ウインチグラップルによる集材と林内車による搬出の作業システムで、切り捨て間伐が主だった施業を収入間伐へ移行していく。 |
| 3 | 身延町森林組合 | 四万十システムによる利用 間伐実証事業 | 急峻な地形において、高密度作業路網と林内作業車を主体とした四万十式利用間伐作業システム（経費の高い高性能機械の使用は抑える）を実施し、利用間伐の採算性を高める。 |
| 4 | 滋賀北部森林組合 | 多種多様な森林を低コスト 高密路網と低コスト保育で 造成 | 低コスト路網を高密度に開設し、スギ・ヒノキの植栽配置を作業路に平行とすることで、これまで人力だった下刈をハンマーナイフで省力化する。また、将来的に高性能機械による利用間伐の作業性もよくなる。 |